

令和元年度 下半期  
四国中央市工業用水道事業  
業務状況説明書

令和元年 10月 1日から

令和2年 3月31日まで

四国中央市水道局

## 目 次

### 令和元年度下半期（令和元年10月1日～令和2年3月31日）の業務の状況

1	事業の概況	1
2	経理の状況	1
	予算の執行状況	1
	(1) 収益的収入及び支出	1
	(2) 資本的収入及び支出	2

### 予算の概要及び事業の経営方針

3	予算の概要及び事業の経営方針	2
---	----------------	---

## 1 事業の概況

	給水事業所数 (令和2年3月31日現在)	年間総責任給水量	一日平均責任給水量
新宮工業用水道	34 工場	94,866,900 m <sup>3</sup>	259,199 m <sup>3</sup>
柳瀬工業用水道	20 工場	76,713,600 m <sup>3</sup>	209,600 m <sup>3</sup>
富郷工業用水道	26 工場	38,263,270 m <sup>3</sup>	104,544 m <sup>3</sup>

## 2 経理の状況

予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	執行済額 (B) 円	執行率 (B/A) %
新宮工業用水道事業収益	1,089,900,000	1,083,160,522	99.4
営業収益	1,062,499,000	1,057,597,080	99.5
うち給水収益	1,052,663,000	1,053,059,133	100.0
営業外収益	27,391,000	25,563,442	93.3
特別利益	10,000	0	0.0
柳瀬工業用水道事業収益	204,700,000	203,719,019	99.5
営業収益	200,512,000	200,375,505	99.9
うち給水収益	200,370,000	200,370,813	100.0
営業外収益	4,178,000	3,343,514	80.0
特別利益	10,000	0	0.0
富郷工業用水道事業収益	2,220,700,000	2,217,997,245	99.9
営業収益	2,098,178,000	2,095,375,576	99.9
うち給水収益	2,083,611,000	2,081,943,620	99.9
営業外収益	122,512,000	122,621,669	100.1
特別利益	10,000	0	0.0
<b>収入合計</b>	<b>3,515,300,000</b>	<b>3,504,876,786</b>	<b>99.7</b>
新宮工業用水道事業費用	761,302,000	705,629,158	92.7
営業費用	717,365,000	668,333,629	93.2
営業外費用	42,092,000	37,295,529	88.6
特別損失	10,000	0	0.0
予備費	1,835,000	0	0.0
柳瀬工業用水道事業費用	202,296,000	141,633,394	70.0
営業費用	185,194,857	126,353,251	68.2
営業外費用	15,280,143	15,280,143	100.0
特別損失	10,000	0	0.0
予備費	1,811,000	0	0.0
富郷工業用水道事業費用	1,858,601,000	1,817,216,445	97.8
営業費用	1,504,048,000	1,471,688,356	97.8
営業外費用	352,674,000	345,528,089	98.0
特別損失	10,000	0	0.0
予備費	1,869,000	0	0.0
<b>支出合計</b>	<b>2,822,199,000</b>	<b>2,664,478,997</b>	<b>94.4</b>

(2) 資本的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	執行済額 (B) 円	執行率 (B/A) %
収入合計	0	0	—
新宮工業用水道事業 建設改良費	183,256,000	134,550,958	73.4
柳瀬工業用水道事業 建設改良費	1,188,000	564,684	47.5
富郷工業用水道事業 建設改良費	2,763,000	1,545,541	55.9
企業債償還金	1,135,266,000	1,135,262,452	100.0
予備費	2,027,000	0	0.0
支出合計	1,324,500,000	1,271,923,635	96.0

3 予算の概要及び事業の経営方針

(総則)

第1条 令和2年度四国中央市工業用水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水事業所数

ア 新宮工業用水道	34 工場
イ 柳瀬工業用水道	20 工場
ウ 富郷工業用水道	26 工場

(2) 年間総責任給水量

ア 新宮工業用水道	94,772,250 m <sup>3</sup>
イ 柳瀬工業用水道	76,504,000 m <sup>3</sup>
ウ 富郷工業用水道	38,222,800 m <sup>3</sup>

(3) 一日平均責任給水量

ア 新宮工業用水道	259,650 m <sup>3</sup>
イ 柳瀬工業用水道	209,600 m <sup>3</sup>
ウ 富郷工業用水道	104,720 m <sup>3</sup>

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

第1款 新宮工業用水道事業収益	1,088,900 千円
第1項 営業収益	1,062,119 千円
第2項 営業外収益	26,771 千円
第3項 特別利益	10 千円
第2款 柳瀬工業用水道事業収益	203,800 千円
第1項 営業収益	202,111 千円
第2項 営業外収益	1,679 千円
第3項 特別利益	10 千円

第3款 富郷工業用水道事業収益	2,239,700 千円
第1項 営業収益	2,117,132 千円
第2項 営業外収益	122,558 千円
第3項 特別利益	10 千円
合 計	3,515,300 千円

支 出

第1款 新宮工業用水道事業費用	806,700 千円
第1項 営業費用	751,270 千円
第2項 営業外費用	53,603 千円
第3項 特別損失	10 千円
第4項 予備費	1,817 千円
第2款 柳瀬工業用水道事業費用	125,300 千円
第1項 営業費用	104,229 千円
第2項 営業外費用	19,207 千円
第3項 特別損失	10 千円
第4項 予備費	1,854 千円
第3款 富郷工業用水道事業費用	1,814,600 千円
第1項 営業費用	1,461,946 千円
第2項 営業外費用	350,793 千円
第3項 特別損失	10 千円
第4項 予備費	1,851 千円
合 計	2,746,600 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,154,000 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 8,708 千円、減債積立金 61,827 千円、建設改良積立金 88,960 千円、過年度分損益勘定留保資金 176,584 千円及び当年度分損益勘定留保資金 817,921 千円で補てんするものとする。）。)

支 出

第1款 資本的支出	1,154,000 千円
第1項 新宮工業用水道事業建設改良費	94,170 千円
第2項 柳瀬工業用水道事業建設改良費	1,470 千円
第3項 富郷工業用水道事業建設改良費	170 千円
第4項 企業債償還金	1,056,177 千円
第5項 予備費	2,013 千円

(一時借入金)

第5条 一時借入金の限度額は、800,000 千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び営業外費用の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- |           |            |
|-----------|------------|
| (1) 職員給与費 | 154,028 千円 |
| (2) 交際費   | 10 千円      |